



ICUS

International Center for Urban Safety Engineering
Institute of Industrial Science The University of Tokyo

ICUS（都市基盤安全工学国際研究センター） 第22回オープンレクチャーのご案内 「復興を俯瞰して考える」

日本社会は、この一年間、未曾有の超広域・壊滅的的巨大災害からの復興という未経験の課題に奮闘している。未だ、取り組むべき様々な課題が山積している。被災地での寄り添った復興支援とともに、被災地域全体を俯瞰した議論も重要である。本オープンレクチャーでは、被災地の現状をふまえた上で、被災地全体を俯瞰し復興のあり方について改めて考える。

- 日時：平成24年4月16日（月）13:30～17:30（13:00開場）
- 場所：東京大学・駒場リサーチキャンパス（東京大学生産技術研究所）
An棟2F コンベンションホール
（地図：http://icus.iis.u-tokyo.ac.jp/wwwj/announcements/ol_map.pdf）
- 主催：東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター
- 入場無料、要申込み【定員：200名】 ※終了後（17:30～）意見交換会（¥1,000）を開催

プログラム

【第一部】13:30-16:00

- 主旨説明：加藤孝明（東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター 准教授）
「復興を俯瞰して考えることの意義」
- 基調講演1：室崎益輝（関西学院大学教授、日本災害復興学会会長）
「あるべき復興と減災の哲学」
- 基調講演2：鈴木浩（福島大名誉教授、福島県復興ビジョン策定委員会委員長）
「福島復興の課題と展望」
- 基調講演3：中林一樹（明治大学特任教授）
「災害復興と事前復興の国づくりー二元復興論ー」
- 基調講演4：川上征雄（国土交通省大臣官房審議官（国土政策局））
「復興・減災と国土政策」

【第二部】16:15-17:30

- パネルディスカッション：
室崎益輝＋鈴木浩＋中林一樹＋川上征雄（コーディネーター：加藤孝明）
- 閉会挨拶：目黒公郎（東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター長 教授）

■申込み

e-mail: icus@iis.u-tokyo.ac.jp FAX: 03-5452-6476

■問合わせ：担当 吉本英子

e-mail: yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp TEL: 03-5452-6472

東京大学生産技術研究所
都市基盤安全工学国際研究センター

基調講演者プロフィール



■室崎益輝

関西学院大学復興制度研究所所長・総合政策学部教授。神戸大学教授，総務省消防科学研究所所長，同消防科学センター長を経て2008年4月より現職。神戸大学名誉教授。災害復興学会長。専門は，都市防災，建築防火。中央防災会議専門委員等を務める。1993年日本火災学会賞，1998年日本建築学会賞(論文)，2007年都市住宅学会賞(論文)



■鈴木浩

福島大学名誉教授。東北大学大学院工学研究科博士課程(建築学専攻)修了後、東北大学工学部助手、国立小山工業高等専門学校 助教授、文部省在外研究員(ロンドン大学)などを経て、1990年 福島大学行政社会学部 教授、2006年 福島大学共生システム理工学類 教授、2010年に定年退職。専門は、地域計画、地域居住政策、福島県復興ビジョン検討委員会座長、福島県総合計画審議会会長、福島県商業まちづくり審議会会長などを務める。



■中林一樹 (なかばやし かつき)

明治大学大学院政治経済学研究科特任教授。首都大学東京教授を経て2011年4月より現職。首都大学東京名誉教授。専門分野は、自然災害科学、地域研究、都市計画・建築計画。中央防災会議「首都直下地震避難対策等専門調査会」座長、同専門委員、東京都防災会議地震部会委員なども務める。災害復興学会副会長。南三陸復興計画策定委員会委員。



■川上征雄 (かわかみ ゆきお)

国土交通省大臣官房審議官。北海道大学大学院環境科学研究科修了。国土庁入庁。1994年東京都企画審議室計画担当課長。1996年国土庁大臣秘書官。2001年国土交通省国土計画局計画官。2004年国土交通省大臣官房参事官、内閣府政策統括官付参事官(社会基盤担当)、2008年国土交通省国土計画局総合計画課長等を経て2011年より現職。博士(工学)。



■加藤孝明 (かとう たかあき)

東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター・准教授。東京大学工学部都市工学科卒業，東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手・助教を経て2010年4月より現職。専門は，都市計画，都市防災，地域安全システム学。市街地の防災性評価技術の開発，防災まちづくりの実践，復興準備，四川地震での復興計画支援等の研究を行う。東京都防災会議地震部会委員も務める。評価技術に関して2001年日本建築学会奨励賞，2007年地域安全学会論文賞，理論と実践に関して2009年日本都市計画家協会楠本洋二賞優秀賞。